

表 33 コンドーム常用とメンタルヘルスの関連

	特定タチ			特定ウケ			不特定タチ			不特定ウケ		
	常用	非常用	P値	常用	非常用	P値	常用	非常用	P値	常用	非常用	P値
特性不安	47.3(11.2)	47.3(11.3)	.953	46.7(11.4)	48.6(11.1)	.030	47.5(11.1)	48.9(11.0)	.102	47.4(11.3)	49.4(11.3)	.023
異性愛者的役割葛藤	34.4(9.4)	34.8(9.4)	.641	35.1(9.0)	34.9(9.7)	.770	34.2(9.3)	34.3(9.6)	.985	34.3(9.0)	34.7(9.9)	.643
自尊心	34.3(8.9)	34.5(8.5)	.667	34.9(8.7)	33.6(8.7)	.045	34.3(9.0)	33.5(8.6)	.256	34.5(9.1)	33.4(8.6)	.093
孤独感	42.1(11.3)	41.2(11.8)	.293	40.6(10.9)	42.1(12.0)q	.117	42.0(12.2)	43.2(11.7)	.182	41.4(12.1)	43.6(11.7)	.018
抑鬱	39.6(9.3)	39.9(9.7)	.706	39.3(9.2)	40.8(9.7)	.048	39.6(9.8)	41.0(9.5)	.118	40.0(9.8)	41.4(9.4)	.073

D. 考察

HIV/STI 一般知識の正当割合

HIV/STI 一般知識の正答割合はほとんどの項目で 80%以上と高く、少なくとも本研究に参加したインターネットを利用する MSM において HIV/STI 一般知識はほぼ浸透していると言えよう。本調査で正答割合が低かった項目は「性感染症にかかっていると、HIV にかかりやすい」(56.0%)「A 型肝炎はワクチンで予防可能」(29.2%)「B 型肝炎はワクチンで予防可能」(30.5%)であり、これらの知識の浸透を促進すると同時に肝炎ワクチン接種に関する具体的な情報提供も今後必要であると考えられる。

過去 6 ヶ月間の性的活動状況

一部の項目で地域差があるものの、過去 6 ヶ月間の性的活動は比較的活発であることが示唆された。商業ハッテン場の利用割合は全体で半数近く、都市部においては半数以上であることやゲイバーに行った経験割合はどの地域においても半数以上であった。これらのことはゲイ商業施設の集まった地域を対象として実施されているコミュニティ・ベースの予防介入プロジェクトが対象とする集団と、本研究参加者の多くが重複していることを示唆するものであろう。

HIV 抗体検査

都市部の HIV 抗体検査受検者においては「医院や病院」「南新宿検査・相談室」の利用割合が高く、地方では「保健所」の利用割合が高かった。地域によって検査場所に違いがある傾向が示されたことにより、都市部では医院や病院および南新宿・検査相談室、地方においては保健所における抗体検査事業の充

実が求められる。そのためにも現行の抗体検査事業の実施のあり方をアセスメントする実態調査の実施なども今後必要であろう。また、HIV 抗体検査事業の実施にあたって保健所に期待される役割は全国的にも大きく、今後は抗体検査事業に従事する保健・医療従事者を対象とした研修場面において MSM に特化した情報の提供や教育の機会提供などが、これまでに以上に必要であると考えられる。

ゲイ・バイセクシュアルの交友関係と生育歴

ゲイ・バイセクシュアル男性の交友関係におけるネガティブおよびポジティブな出来事の実態と生育歴におけるいじめ被害の現状などが明らかとなった。いじめなどに象徴されるように、性的指向への理解不足や MSM に対する差別や偏見など社会から付与されるスティグマのみならず、ゲイ・バイセクシュアル男性の交友関係においても心理的葛藤やネガティブな出来事が実際に起きていることが明らかとなった。つまり MSM の抱える心理・社会的諸問題は異性愛社会からもそしてゲイ・バイセクシュアル男性の人間関係からも、その両方から付与されているということである。しかしながらその一方で、ゲイ・バイセクシュアル男性の交友関係においてポジティブな出来事や関係性構築が出来ている人の割合も比較的高いことも示唆された。

コミュニティ・イベント

過去 6 ヶ月間にコミュニティ・イベントに参加した人の割合は全体で 17.8%、これまでにコミュニティ・イベントに参加して楽しかったことは 37.4%と比較的低下率であった。イベント参加割合が高かった居住地域

は関東地方および東京都在住者であった。このことを鑑みると、都市部におけるコミュニティ・イベントによる予防介入の実施可能性は残されつつも、イベント以外の方法によって予防介入を実施していくことの必要性もあると考えられる。

商業ハッテン場とゲイバーにおけるコンドーム配布

過去 6 ヶ月間に商業ハッテン場(サウナ、ビデオボックス、マンション系)に行ったことがある人における、ハッテン場でのコンドーム受け取り割合は全体の半数以上であったことや、とりわけ東京在住者や大阪在住者の受け取り割合は比較的高かった。このことは都市部在住のハッテン場利用者の HIV/STI 予防意識が変容しつつあることを示唆するものかもしれない。また、コミュニティ・ベースの予防介入プロジェクトあるいは既存のゲイ・エイズボランティア団体や商業施設独自によるコンドーム配布の成果であるとも考えられる。しかしながら、受け取ったことがない人もいることから、無料配布コンドーム受け取りに関わる要因についての詳細な検討も必要である。

コンドーム常用率

アナル・インターコースにおけるコンドーム常用率は挿入する側(タチ)、される側(ウケ)に関わらず比較的低率であった。セックスの相手が特定の相手になればこの傾向はより顕著であった。このことからインターネット利用 MSM においてもコンドーム常用率は低く、特定・不特定に関わらずアナル・インターコースにおけるコンドーム使用を促進する必要がある。

メンタルヘルス悪化の現状

特性不安尺度、異性愛者的役割葛藤尺度、自尊心尺度、孤独感尺度、抑鬱尺度その全ての心理尺度得点と年齢階級は有意であった。このことから若年者は年長者に比較すると不安、異性愛者的役割葛藤、抑鬱、孤独感の度合いが高いことや自尊心の低さが示された。本研究参加者間において比較すると若年者のメンタルヘルスが年長者より一層悪化しているということであり、年長者のメンタルヘルスも他集団と比較して良好あるいは同等ということではない。

異性愛者と比較すると、どの年代も全般的にメンタルヘルスを悪化しており、本研究の対象者に対するメンタルヘルス向上のための支援策が必要である。

HIV 感染リスク行動と心理的背景

コンドーム常用者と比較すると非常用者にコンドーム不使用に関連する心理的要因が有意に関連していたことやアナル・インターコースにおいて挿入される側(ウケ)経験者が特性不安、孤独感、抑鬱の度合いが高く、自尊心が低いことが示された。これらのことからコンドーム常用を促進するにあたって心理的背景への対策を盛り込むことが必要であると考えられる。とりわけ、コンドームを常用しない HIV 感染リスク行動に有意な関連があったコンドーム不使用に関連する心理的要因の一部は、病気の予防の必要性を認識しつつも、それ以上に無防備なセックスを求める心理的力動があることを示唆している。これはコンドーム不使用に関する一つの明確な理由を示していると言えよう。つまりコンドーム使用にあたって阻害要因があると言うよりはむしろ、明確な理由があつてコンドームを使っていない現実を示唆していると考えられる。これらのコンドーム非常用に関連のある背景因子をさらに検討するとともに、心理的問題に配慮する具体的な介入プログラムの検討と開発も必要である。

心理カウンセリングのニーズ

心理カウンセリングを受けることへの関心の高さは、メンタルヘルス向上のための心理的サポートの必要性があることを示唆していると言えよう。また、若年者は年長者に比べてメンタルヘルスをより悪化していることや HIV 感染リスク行動にメンタルヘルスや心理的要因が複合的に関連していた結果からも、メンタルヘルス向上のための支援策のひとつとして心理カウンセリングが必要であると考えられる。また、心理カウンセリングを受けることに関心がある人のなかで「心理カウンセラーに会って話ができる医療機関の心当たりがある」人の割合は 17.4%と低率であり、ニーズがあつても実際に役立つ情報がないということが示唆された。今後は MSM が安心して心理カウンセリングを受けることが出来る医療機関や学生相談などの関連

機関についての情報提供も必要となるであろう。同時に、臨床心理士などの心理臨床家を対象とした MSM の受け容れについての意識・実態調査の実施や、MSM についての基礎情報を学ぶ研修機会なども整備する必要があると考えられる。

E. 結論

MSM の性的活動や HIV 感染リスク行動、それらに関連する心理・社会的要因を明らかにすることを目的にインターネット調査を実施した。その結果、HIV/STI 一般知識の正答割合は高く、正しい知識はほぼ浸透していることが示唆された。過去 6 ヶ月間における商業ハッテン場の利用割合やインターネットで知り合った男性とセックスした経験割合が示され、比較的活発な性的活動状況が明らかとなった。またアナル・インターコースにおけるコンドーム常用割合は不特定の相手よりも特定の相手の場合でより低く、全般的にコンドーム常用割合は低かった。

過去 1 年間における HIV 抗体検査受検割合や受検場所は性感染症の既往割合は地域差があった。

アナル・インターコース時のコンドーム非常用にコンドーム不使用に関連する心理的要因が有意に関連していたことや挿入される側(ウケ)のコンドーム非常用とメンタルヘルスに有意な関連があった。これらのことから HIV 感染リスク行動に心理的要因やメンタルヘルスの悪化が関連していることが示唆され、インターネットを利用する MSM を対象とした予防介入を実施する際に、心理的問題をも視野に入れた予防介入プログラムが必要であると考えられる。また、心理カウンセリング受診の関心は全体的に高い一方、受診可能な医療機関の心当たりがある者は少なかった。心理カウンセリング受診にあたって必要な情報を提供することや、心理臨床家を対象とした MSM に関する研修の実施なども必要であろう。

MSM の HIV 感染リスク行動の実態やそれに関連する心理・社会的要因やその背景が明らかになったことから、これらの実態に即した予防介入の実施が急務である。

F. 研究発表

なし

国民向けエイズ広報の普及に関する調査(2003年)

主任研究者:市川誠一(名古屋市立大学大学院看護学研究科)

分担研究者:木村博和(横浜市立大学医学部公衆衛生学)

研究要旨

近年の HIV 感染症の動向から、政府は様々な媒体を活用して、国民対象のエイズ予防啓発を広報している。これらの媒体による広報の普及効果を知ることは、エイズ対策構築の基礎資料に資するものと考え、昨年引き続き政府広報への接触経験を調査し、各種媒体による普及効果を分析した。調査対象は、満 16 歳以上の男女で、全国から 2115 人を層化 2 段無作為抽出法にて選び、個別面接聴取法により実施した。回収数は 1473 人(69.6%、男性 616 人、女性 857 人)、年齢では、16-19 歳 6.2%、20 歳代 9.6%、30 歳代 18.7%、40 歳代 18.2%、50 歳代 18.3%、60 歳以上 29.0%であった。

1. エイズに関する情報源及び知識

エイズに関する情報源として、テレビが 50.8%と最も多く、次いで新聞が 31.8%であった。パソコンのインターネットは 2.7%、携帯電話 WEB は 0.5%であった。エイズに関する知識で「日本で HIV 感染者が増えている」と選択した者は 62.5%、「性感染症に罹っていると HIV に感染しやすい」は 15.1%であった。

2. テレビ、電光板、街頭ビジョン、映画館でのエイズ広報への接触経験

エイズ広報をテレビで見た者は 39.2%、電光板ニュース 2.3%、街頭ビジョン 3.1%、映画館 3.2%であった。

3. 各種エイズ広報への接触経験

1) 雑誌「smart」「JJ」の掲載広告を見た者は 3.3%、見たような気がする 7.6%であった。男女共にほぼ同率で、男性では 20 歳代 6.0%、女性では 16—19 歳 8.2%であった。雑誌「POPTeen」の掲載広告を見た者は 1.0%、見たような気がする 3.3%であった。女性 16-19 歳では 4.1%と最も高く訴求性が示された。

2) 電車内広告(東京、大阪)を見た者は 5.2%、見たような気がする 8.0%であった。「見たような気がする」を含めた接触率は関東 19.2%、京浜 22.8%と高いが、近畿は 10.5%、京阪 7.0%と低い。

3) 野外広告板を見た者は 2.4%で、14 大都市では「見たような気がする」を含めると 10.5%であった。女性に比べて男性が高く、中でも 16—19 歳、20 歳代、40 歳代、50 歳代で高い傾向にあった。

4) 東京都ポスター(マサト)を見た者は 3.9%、東京都ポスター(感染増加)を見た者は 1.4%であった。いずれも京浜地区での接触率が高く、「見たような気がする」を含めると各々 27.5%、8.7%であった。

5) 車体広告(電気自動車)を見た者は 2.4%で、関東、京浜地区での接触率は 3.3%、3.4%であった。

6) サッカー選手によるエイズ広報をテレビ CM で見た者は 13.4%で昨年とほぼ同率で、男性の接触経験が高かった。

7) 携帯電話 WEB を利用したエイズ広報は 0.3%と昨年に比べて低かった。「時期は忘れたが見たことがある」者は 3.5%で、年齢では 20 歳代、30 歳台に高い傾向であった。

4. エイズ予防啓発キャンペーンに関する報道への接触について

芸能人を迎えて実施した新宿での世界エイズデーキャンペーンの報道を見た者は 12.0%と最も高く、特に関東、京浜地区では 18.2%、19.5%と他地区に比して高かった。年齢層も 10 歳台層から中高年層までと幅広く、他のキャンペーン等の場合と異なっていた。なお、エイズに関する報道が多くなったとは思わないの回答は 21.5%であった。

5. エイズへの関心とその理由

エイズへの関心が有ると回答した者は 54.4%で、最も多かった理由は「日本でも感染者が増えているから」が 72.4%で、昨年と同様であった。また、「自分も感染する可能性があると思うから」は 9.4%、「感染が不安になったことがあるから」は 4.5%で、男女の若い層に高い傾向であった。

A. 背景と目的

わが国においては 1980 年代中ごろから、広く国民に向けたエイズ啓発を開始し、ポスター、パンフレット等を用いて普及を図ってきたところである。しかし、エイズ発生動向調査によれば、未発症の HIV 感染者（以下、HIV 感染者）、AIDS 患者の報告数は 1995 年以降増加傾向が続き、特に日本国籍男性で顕著に増加している。近年の特徴として、性感染としての HIV は中高年層を中心に増大しているばかりでなく、若い世代にもシフトして拡がりつつある。性感染症としての HIV 感染の予防に関する情報を広く国民に向けて啓発することは大切と考えるが、啓発媒体は性、年齢層、セクシュアリティなどを考慮するなど訴求性に工夫が必要と考える。

政府は近年の HIV を含む性感染症の流行状況から、広く国民に向けた啓発を様々な媒体を用いて実施している（表 1）。モバイル携帯端末を用いた広報は携帯電話の普及に沿ったものとして期待され、女性層、男性層の若年者については購読層を考慮した雑誌を選択するなどの工夫が見られ、また街頭ビジョン、電車内窓上広告（東京、大阪のみ）は都市部での訴求性を図るものとして、サッカー選手によるテレビ CM は全国的なものとしてその普及効果が期待される。

これらの媒体による広報の普及効果を知ることは、普及方法の開発のうえで基礎的な資料となるものと考え、政府広報への接触経験を調査し、各種媒体による普及効果を分析した。

B. 研究方法

調査対象は、満 16 歳以上の男女で、全国から 2115 人を層化 2 段無作為抽出法にて選び、社団法人中央調査社調査員による個別面接聴取法により実施した。調査時期は第 1 回調査が 2004 年 2 月初旬、第 2 回調査が 3 月初旬で、それぞれ土曜日、日曜日を含む 4 日間に行った。したがって、両調査をあわせて 4230 人を対象に調査した。本報告では、調査が終了した 2 月調査の結果を報告する。2 月調査の回収数は 1473 人（69.6%）であった。

調査項目は、①エイズに関する情報源、②エイズに関する知識、③エイズ広報に使用された媒体への昨年（2002 年）1 年間の接触経験、④テレビ、電光板、街頭ビジョン、映画館でのエイズ広報への接触経験、⑤各種エイズ広報への接触経験（雑誌「POPTTEEN」

「smart」「JJ」の掲載広告広報、野外広告板、電車内窓上の啓発広告、電気自動車車体広告、プロサッカー選手による「ストップエイズ」広報、携帯電話 Web によるエイズ広報）、⑥エイズへの関心とその理由、などである（参考資料 1）。⑤に関しては実際の広告を印刷したものを提示して調査票への回答を得た。

集計分析には SPSS-ver9.0 を用いた。

C. 研究結果

1. 回答者の分布

地域ブロック、都市規模、性、年齢、職業別に回答者の分布を表 2 に示した。回収数は 1473 人（69.6%、男性 616 人、女性 857 人）、年齢では、16-19 歳 6.2%、20 歳代 9.6%、30 歳代 18.7%、40 歳代 18.2%、50 歳代 18.3%、60 歳以上 29.0%であった。

2. エイズ広報に使用された媒体への昨年（2003 年）1 年間の接触経験

11 月から 12 月の間に映画館に行った者は 26.7% で、16-19 歳層は 49.5%、20 歳代 44.4%、30 歳代 36.6% で、どの年齢も女性は男性に比べて高かった（表 3）。

7 月から 12 月までの間、携帯電話を使用していた者は 50.6% とほぼ半数を超えていた。携帯 i モード等の利用率は 30.1% で携帯電話利用者の半数が利用していた。携帯 i モード等の利用は、16-19 歳層は 72.5% と昨年より増え、20 歳代を中心に若年層での利用が高い。

外出して電光板ニュースを見たことがあるものは 32.2%、街頭ビジョンは 22.9% であった。どちらも年齢が若いほど見たことがあるとの回答率が高い。また大衆向けの週刊誌は 24.5% がほぼ毎月読んでおり、男性が高く、20 歳代は 40% ほどであった。雑誌「smart」を購読した者は全体では 1.6% と低いが、16-19 歳層は 14.3% と高く、「POPTTEEN」「JJ」は若年女性層で高い。

ほとんど毎日テレビを見た者は 80.7% であった。なお、これらの媒体に対して接触したことはない、わからないが 8.1% であった。

3. エイズに関する情報源及び知識

エイズに関する情報源では、テレビをあげた者は 50.8% で、次いで新聞が 31.8% であった（表 4）。他の情報源は 7% あるいはそれ以下であった。パソコンのインターネットを情報源として挙げていた者は

2.7%、携帯電話のWEBでは0.5%であった。

エイズに関する知識についてみると、「日本で HIV 感染者が増えている」と回答した者は 62.5%で昨年に比して低い。男女ともに若い層でのこの情報の認知が高い(表 5)。抗エイズ薬による延命治療効果について知っている者は 20.6%と低く、性感染症に罹っていると HIV に感染しやすいについては 15.1%であった。12月1日が世界エイズデーであることを知っていた者は 13.2%であった。

保健所で無料匿名の HIV 検査をしていることを知っている者は 39.6%で、昨年とほぼ同率であった。女性の 40 歳代を除くとどの年齢層も半数に達していない状況であった。特に、男女ともに 16-19 歳層は低いことが示された。

4. テレビ、電光板、街頭ビジョン、映画館でのエイズ広報への接触経験

テレビでエイズ広報を見た者は 39.2%と高いが、電光板ニュースでエイズ広報を見た者は 2.3%、街頭ビジョンでは 3.1%、映画館では 3.2%と低かった(表 6)。また街頭でコンドーム配布キャンペーンを見たことがある者は 5.4%で、16—19 歳層に比較的高い(7-10%)傾向にあった。エイズに関する広報はどこでも見たことが無いと回答した者は 55.3%で、中高年層に比べて若い層で高い傾向にあった。

5. 各種エイズ広報への接触経験

- 1) 雑誌「smart」「JJ」への掲載広告を見た者は 3.3%、見たような気がする 7.6%であった(表 7-1)。男女共にほぼ同率で、男性では 20 歳代 6.0%、次いで 40、50 歳代が高く、女性では 16—19 歳 8.2%、次いで 30 歳代 4.6%、20 歳代 4.0%であった。
- 2) 雑誌「POPTTEEN」の掲載広告を見た者は 1.0%、見たような気がする 3.3%であった。女性 16-19 歳では、掲載広告を見た者は 4.1%と最も高く、また見たような気がする者も 6.1%と高い。この雑誌の購読年齢層への訴求性が示された。
- 3) 電車内広告(東京、大阪)を見た者は 5.2%、見たような気がする 8.0%であった。「見たような気がする」を含めた接触率は関東 19.2%、京浜 22.8%と高いが、近畿は 10.5%、京阪 7.0%とこれに比べて低かった。なおこの広告は地域が限定されているにも関わらず他の地域でも 3-5%の回答があり、他の広告との混同も懸念される。
- 4) 電気自動車による車体広告は東京都内で走行されたが、それを見た者は 2.4%、見たような気がす

るが 5.2%であった。この接触率は京浜地区で 3.4%、関東地区で 3.3%であったが、他の地域でもこれより高い回答が示されており、詳細な分析が必要と思われる。

- 5) 野外広告板を見た者は 2.4%で、14 大都市では「見たような気がする」を含めると 10.5%であった(表 7-2)。女性に比べて男性が高く、中でも 16—19 歳、20 歳代、40 歳代、50 歳代で高い傾向にあった。
 - 6) 東京都ポスター(マサト)を見た者は 3.9%、東京都ポスター(感染増加)を見た者は 1.4%であった。いずれも京浜地区での接触率が高く、「見たような気がする」を含めると各々 27.5%、8.7%であった。また男女共に 50 歳代層での接触率が高く、若年層には訴求性が低いようであった。
 - 7) サッカー選手によるエイズ広報を、テレビ CM で見た者は 13.4%で、昨年とほぼ同率であった(表 7-3)。また男性の接触経験が高く、特に若い層が高かったことも昨年と同様であった。
 - 8) 携帯電話の WEB を利用したエイズ広報は、7 月では 0.3%と昨年に比べて低かった。「時期は忘れたが見たことがある」者は 3.5%で、年齢では 20 歳代、30 歳代に高い傾向であった。
- #### 4. エイズ予防啓発キャンペーンに関する報道への接触について

渋谷でのコンドーム配布キャンペーンに関する報道を見た者は 7.3%、8 月の同性愛者対象の予防啓発センターに関する報道には 2.5%、10 月エイズ対策シンポジウムに関する報道には 3.9%、12 月新宿でのコンドーム配布キャンペーンに関する報道には 4.3%が接触していた(表 8)。これらに比べて芸能人(飯島愛氏)を迎えて実施した新宿での世界エイズデーキャンペーンの報道を見た者は 12.0%と最も高く、特に関東、京浜地区では 18.2%、19.5%と他地区に比して高かった。年齢層も 10 歳台層から中高年層まで幅広く、他のキャンペーン等の場合と異なっていた。なお、エイズに関する報道が多くなったと回答した者は 9.6%で、多くなったとは思わないと回答した者は 21.5%と多かった。

6. エイズへの関心とその理由

エイズへの関心が有ると回答した者は 54.4%で、その理由で最も多かったのは「日本でも感染者が増えているから」が 72.4%と最も高く、昨年と同様の結果であった(表 9)。また、「自分も感染する可能性があ

ると思うから」は 9.4%、「感染が不安になったことがあるから」は 4.5%で、男女の若い層に高い傾向であった。

D. 考察

本調査は、層化無作為 2 段抽出により対象者を選んで 2 月、3 月と実施したものであるが、3 月調査は集計中であるため、2 月調査の結果のみを報告した。

エイズ広報に使用された媒体への接触経験は、映画館は 16-19 歳層、20 歳代、30 歳代が高く、特に女性で利用が高い。しかし、この映画館におけるエイズ広報に対する認知は 3.2%で、昨年 4.3%より低かった。

携帯電話を使用していた者は昨年よりも若干増え、そして携帯 i モード等の利用率も増えていた。しかし WEB でのエイズ広報への接触は、昨年調査(7 月広報の接触率 0.8%)よりも低下していた。携帯電話の出会い系サイトが新たな交流を見出す方法として活用されている今日、この携帯電話での啓発については更に工夫を加えることで、若い層のみならず中高年層への訴求性も期待されると考える。

電光板ニュース、街頭ビジョンを外出してみたことがあると回答した者は 30%前後あるが、エイズ広報との接触率は必ずしも高いとは言えなかった。これは、これらの媒体が設置されている場所にその普及効果は左右される。こうした媒体での啓発で効果を図るためには、設置されている場所について、事前にその訴求性などを検討する必要がある。

一方で、雑誌「POPTTEEN」「smart」「JJ」については、全対象者に占めるこれら雑誌への接触率は低いものの、性別に若い年齢層への接触率は高く、結果として、啓発広告広報への接触率も若年層で高く、これらの年齢層への訴求性が図られる普及啓発方法と考える。

また、新宿で行われた世界エイズデーキャンペーンの報道には 12.0%が見たと回答しており、特に関東、京浜地区では 18.2%、19.5%と他地区に比して高かった。年齢層も 10 歳台層から中高年層まで幅広く、啓発活動を報道が取り上げることの意義が示唆された。

エイズへの関心は、「感染者が増えているから」を理由に挙げたものが最も多く、昨年と同様の結果であった。「自分も感染する可能性があると思うから」、「感染が不安になったことがあるから」を挙げている者は男女共に若い層に高い傾向であった。これは最

近の若年層における性行動と関連している可能性が考えられるが明らかではない。

感染者・患者が増加している今日、国民への HIV 感染予防の広報は重要である。予防についての広報が、誰に向かって発信されているのか。例えば、携帯電話の WEB や、映画は、若年層に利用の高いことが本調査でわかった。しかし、それらを利用した広報への接触率は必ずしも高いとは言えない。一方で「POPTTEEN」「smart」「JJ」など購読層を意識した雑誌への掲載広告にはその年齢層への訴求性が期待されることが示された。HIV 感染予防啓発は、その訴求性が重要であり、そのためには効果性を評価してより有効な方法や内容に転じていくことが必要である。

E. 結語

満 16 歳以上の男女(層化 2 段無作為抽出法による 2115 人、回収数 1473 人)を対象に政府広報への接触経験を調査しその普及効果を分析した。

携帯電話、携帯 i モード等の利用率は各 50.6% 30.1%で、特に 16-19 歳層は昨年より増えていた。外出時電光板ニュースや街頭ビジョンを見た者は 32.2%、22.9%であった。雑誌「smart」は 16-19 歳層が 14.3%と高い接触率で、「POPTTEEN」「JJ」は若年女性層で高かった。ほとんど毎日テレビを見た者は 80.7%であった。

WEB でのエイズ広報への接触率は 0.3%と低く、電光板ニュース、街頭ビジョンでエイズ広報を見たことがある者も 2-3%と低い。一方、テレビでエイズ広報を見た者は 39.2%と高く、プロサッカー選手によるエイズ広報には 13.4%が接触していた。

また、新宿で行われた世界エイズデーキャンペーンの報道を見た者は 12.0%で、特に関東、京浜地区は 18.2%、19.5%と高かった。年齢層も 10 歳台層から中高年層まで幅広く、啓発活動を報道が取り上げることの意義が示唆された。

エイズへの関心は、昨年同様、感染者が増えているからを理由に挙げたものが最も多かった。

感染者・患者が増加している今日、エイズ予防の広報は重要である。しかし、その効果性を評価して、より有効な広報を展開することが予防に貢献するものと思われる。また、啓発対象層を明確にすることも必要であり、広報の手段や内容は、対象層への訴求性高める工夫が必要と思われる。

表1 平成15年度に実施した政府等広報によるエイズ予防啓発

事項	期間	概要	内容	対象	備考
テレビ番組	5月30日(金)	「キク！みる！」(フジ 金22:52～23:00)	東京都南新宿検査・相談室の紹介、早期検査のよびかけ	一般	政府広報
スポットCM (ラジオ・80秒)	7月5日(土)	「中山秀征の愛してJAPAN」(FM東京 土9:30～9:55)	国内での感染が増加しており、年齢や性別、地域を超えて拡がっている・感染は性的接触によるものがほとんどだが、感染力が弱く予防が可能・予防にコンドーム、感染を拡げないため早期検査・早期治療が不可欠	一般	政府広報
電光板ニュース	7月20日(日) ～26日(土)	全国11都市の電光板ニュースを活用	「HIV感染増加中！ほとんどが性的接触によるもの。エイズ予防にコンドームの適正使用を。保健所では無料匿名検査をしています。」	一般	政府広報
モバイル携帯端末	7月20日(日) ～26日(土)	iモード、EZweb、J-sky共通の公式サイト「The News」を利用	「正しい知識と行動でエイズ予防」 「HIVの感染が増えています。感染のほとんどが性行為によるものです。エイズやクラミアなどの性感染症を予防するため、コンドームを正しく使しましょう。」	青少年	政府広報
スポットCM (テレビ定時)	7月中(平成14年8月～平成16年8月の2年間契約、断続的に放映)	・日本テレビ「新ニッポン探検隊」(日、6:30～6:45、31局ネット) ・CS朝日「明日への架け橋」(21:30～22:00) ・テレビ朝日「川アクセスNOW」(土、22:00～22:30) ・TBSテレビ「スーパードライデー」(金18:55～20:54)	サッカ―日本代表のゴールキーパー・精進正剛起用。 植崎：「しっかりと知識と行動で守ることができるといいですね。」 N A：「HIV感染を防ぐにはコンドームを使用するなど、正しい予防行動が必須」 植崎：「目をそらししては止められぬ。迷っては防げない。」	一般	政府広報
街頭キャンペーン (TV等報道あり)	7月25日(金) 16:00～19:00	渋谷ハチ公前にて実施 【協力】渋谷区・club aisa・東急百貨店	コンドーム等の配布、ミニトーク実施【出演：岩室紳也・日向琴子他】、クラブでのキャンペーン	青少年	エイズ予防財団
雑誌広告	8月	「smart 8/4&8/18号」[J] 9月号	「元カレや元カノの誰かがもしHIVに感染していたら・・・」 「エイズの原因であるHIV感染は、愛や信頼だけでは防げません。」	青少年	政府広報
akta設置テレモニ (TV等報道あり)	8月22日(金) 16:00～22:00	同性愛者の啓発センター「akta」設置にあわせ、マスコミヤコミュニティセンターへのアビールを兼ねたテレモニを実施	ティーパーティー、写真展「my first safer sex」、啓発資料(コンドーム)の配達	同性愛者	エイズ予防財団
屋外広告板	10月～16年3月	全国11カ所の駅前などに広告板を掲示	「感染防止には、コンドームを正しく装着。早期検査で、ストップエイズ。」	一般	政府広報
シンポジウム (TV等報道あり)	10月1日(水) 14:00～17:00	「日本のエイズ対策への提言」 【出演】ビクター・ピオットUNAIDS専務局長 ほか	国際社会におけるエイズ問題を幅広く考えるため、ピオット氏及び日本の識者によるシンポジウムを開催	一般・関係者など	エイズ予防財団
ムービースポット (30秒)	11月1日 ～12月末	全国385映画館で上映(映画館により上映期間に変動あり)	「どんな人がHIVに感染するのか?」「HIV感染予防法は?」といった質問に 対する若者の生の回答を紹介しながら、「正しい知識」を伝えていくもの。	青少年	エイズ予防財団
電車内広告	11月末～12月頭	山手線線路上(11/28～12/2)、大阪環状線下(11/26～12/1)	レッドリボンポスター「12月1日はエイズデー」	一般	エイズ予防財団
単体広告	11月26日(水) ～12月1日(月)	電気自動車の走行 (新宿・原宿・渋谷・六本木・赤坂等を巡回)	レッドリボン・世界エイズデーの告知	一般	エイズ予防財団
ラジオ	11月30日(日)	「グッドモーニングジャパン」(TBSラジオ 日8:30～9:00)	岩室先生出演(飯島愛ナレーション出演)	青少年	政府広報
世界エイズデー 街頭キャンペーン (TV等報道あり)	11月30日(日) 14:00～18:00	新宿駅東口等において実施 【共催】新宿区【後援】文部科学省【協力】NGO・百貨店・民間企業(MTVなど)・日本コンドーム工業会ほか	・飯島愛、岩室紳也によるトークバトル ・NGO(おれいす東京、RAINBOW RING)によるステージ ・ボランティア(100名)によるコンドーム配布 ほか	青少年・一般	エイズ予防財団
コミュニティFM	12月1日前後 (1時間)	全国のコミュニティFM局(150)にて放送 出演：MEGUMI、家田莊子、池上千穂子	若者の性行動や予防、検査の重要性などエイズに関する正しい知識について、若者に人気の高いタレントと専門家のトークによって分かりやすく解説	青少年	エイズ予防財団
ムービースポット (30秒)	12月中	全国80の映画館で上映	友達かHIV感染・・・自分達だけは大丈夫と思っていたのに・・・「HIVはコンドームで予防」「HIV・AIDS感染拡大防止のため早期検査を」	青少年	政府広報
シンポジウム	12月13日(土)	「危険を知らない若者たち～若者の性行動とエイズ～」 出演：岩室紳也、満屋裕明、杉浦互、宮台真司、早坂暁、水野肇	若者・父兄・教師がそれぞれの立場から性の現状やエイズについてディスカッションし、「自分自身の問題」として考える契機とする。	青少年・父兄・教員	エイズ予防財団

表2 地域ブロック別、属性別対象者分布

	地域ブロック	総数	北海道	東北	関東	京浜	甲信越	北陸	東海	近畿	阪神	中国	四国	九州
	n (%)	1473 100	72 4.9	110 7.5	302 20.5	149 10.1	67 4.5	36 2.4	182 12.4	143 9.7	100 6.8	91 6.2	50 3.4	171 11.6
〔都市規模別〕	14大都市	342	6.7	3.5	6.7	43.6	0.0	0.0	8.5	5.3	14.0	4.1	0.0	7.6
	その他の市	803	4.1	7.0	27.5	0.0	4.7	3.1	14.2	11.1	6.5	6.6	4.0	11.2
	町村	328	4.9	12.8	17.7	0.0	8.8	3.4	11.9	11.0	0.0	7.3	5.5	16.8
〔性別〕	男性	616	4.1	8.0	20.5	10.9	4.4	2.3	13.0	10.1	4.9	5.7	3.4	13.0
	女性	857	5.5	7.1	20.5	9.6	4.7	2.6	11.9	9.5	8.2	6.5	3.4	10.6
〔年齢別〕	16～19歳	91	5.5	8.8	15.4	7.7	5.5	2.2	13.2	9.9	4.4	7.7	3.3	16.5
	20～29歳	142	4.9	5.6	18.3	14.8	2.1	4.2	10.6	9.2	4.2	4.9	2.1	19.0
	30～39歳	276	3.3	6.2	20.7	14.9	4.0	3.6	11.6	10.9	6.5	6.9	2.2	9.4
	40～49歳	268	5.6	9.0	21.6	8.6	3.7	1.1	11.9	10.4	7.5	6.0	4.5	10.1
	50～59歳	269	5.2	4.8	25.7	9.3	3.0	1.9	14.5	8.9	8.2	5.2	4.5	8.9
	60～69歳	246	4.9	9.3	17.9	8.1	8.1	2.4	15.9	8.1	7.3	5.3	2.0	10.6
	70歳以上	181	5.5	9.4	18.8	6.6	5.5	2.2	7.2	10.5	6.6	8.3	5.0	14.4
〔性・年齢別〕	男性・16～19歳	42	7.1	4.8	21.4	7.1	7.1	4.8	7.1	9.5	0.0	7.1	7.1	16.7
	20～29歳	67	0.0	6.0	19.4	14.9	1.5	1.5	11.9	11.9	4.5	3.0	1.5	23.9
	30～39歳	102	3.9	8.8	18.6	15.7	3.9	4.9	10.8	10.8	4.9	5.9	1.0	10.8
	40～49歳	93	2.2	12.9	20.4	11.8	2.2	1.1	18.3	7.5	5.4	4.3	5.4	8.6
	50～59歳	119	5.0	5.9	31.9	10.1	1.7	1.7	14.3	9.2	4.2	5.9	1.7	8.4
	60～69歳	103	5.8	8.7	13.6	8.7	8.7	1.9	15.5	9.7	5.8	2.9	2.9	15.5
	70歳以上	90	4.4	6.7	15.6	6.7	6.7	1.1	8.9	12.2	6.7	11.1	6.7	13.3
	女性・16～19歳	49	4.1	12.2	10.2	8.2	4.1	0.0	18.4	10.2	8.2	8.2	0.0	16.3
	20～29歳	75	9.3	5.3	17.3	14.7	2.7	6.7	9.3	6.7	4.0	6.7	2.7	14.7
	30～39歳	174	2.9	4.6	21.8	14.4	4.0	2.9	12.1	10.9	7.5	7.5	2.9	8.6
	40～49歳	175	7.4	6.9	22.3	6.9	4.6	1.1	8.6	12.0	8.6	6.9	4.0	10.9
	50～59歳	150	5.3	4.0	20.7	8.7	4.0	2.0	14.7	8.7	11.3	4.7	6.7	9.3
	60～69歳	143	4.2	9.8	21.0	7.7	7.7	2.8	16.1	7.0	8.4	7.0	1.4	7.0
	70歳以上	91	6.6	12.1	22.0	6.6	4.4	3.3	5.5	8.8	6.6	5.5	3.3	15.4
〔職業別〕	農林漁業	38	0.0	23.7	15.8	0.0	10.5	2.6	7.9	10.5	0.0	5.3	7.9	15.8
	商工・サービス業	135	8.9	8.1	17.0	8.9	0.7	0.0	17.8	10.4	10.4	3.7	5.2	8.9
	事務職	268	3.7	6.3	20.9	15.7	4.1	2.6	15.3	7.8	4.1	4.9	3.4	11.2
	労務職	317	5.7	6.3	20.8	7.3	2.8	4.4	12.3	9.1	7.9	6.3	3.2	13.9
	自由業・管理職	51	3.9	9.8	23.5	9.8	5.9	2.0	5.9	13.7	3.9	7.8	7.8	5.9
	無職の主婦	379	5.3	7.1	23.0	11.3	6.6	2.4	9.2	9.2	7.9	7.9	2.4	7.7
	学生	100	4.0	8.0	19.0	7.0	5.0	2.0	13.0	11.0	6.0	7.0	3.0	15.0
	その他の無職	185	3.2	7.0	17.8	9.2	4.9	1.1	13.0	11.9	6.5	5.4	2.7	17.3

表3 昨年1年間に接触した情報媒体等に関する回答率(%)

	n	昨年11 ~12月 末の間に映画 館に行った	昨年7~ 12月末 までの間携帯 電話を使用した	昨年7~ 12月末 の間、i モード等 を利用した	出かけた 時に電光板 ニュース を見たことがある	出かけた 時に街頭ビ ジョンを 見たことがある	ほとんど 毎月一 般大衆 向け雑誌、週刊 誌を読んだ	ほとんど 毎月一 般大衆 向け雑誌「sma rt」を読んだ	ほとんど 毎月一 般大衆 向け雑誌「JJ」 を読んだ	ほとんど 毎月「週 刊少年 マガジ ン」を読 んだ	ほとんど 毎月雑誌「PO PTEE N」を読 んだ	ほとんど 毎日テレビは 見ている	したもの はない、 わからない
総数	1473	26.7	50.6	30.1	32.2	22.9	24.5	1.6	2.4	3.4	1.0	80.7	8.1
〔ブロック別〕													
北海道	72	19.4	43.1	30.6	30.6	20.8	15.3	6.9	5.6	1.4	2.8	84.7	13.9
東北	110	22.7	45.5	24.5	29.1	17.3	24.5	0.9	1.8	2.7	2.7	85.5	8.2
関東	302	25.5	49.0	28.1	33.1	25.5	22.5	1.0	1.3	4.6	1.0	73.8	12.3
京浜	149	39.6	52.3	25.5	38.9	34.9	24.8	2.0	2.0	0.7	0.7	75.2	10.7
甲信越	67	11.9	50.7	28.4	34.3	19.4	20.9	1.5	3.0	1.5	0.0	95.5	3.0
北陸	36	44.4	61.1	50.0	50.0	19.4	47.2	5.6	5.6	5.6	0.0	83.3	11.1
東海	182	24.7	46.2	28.6	30.8	20.3	20.9	1.6	1.1	3.3	0.0	78.6	12.1
近畿	143	32.9	58.0	36.4	30.1	16.8	26.6	0.7	4.9	2.8	2.1	81.8	2.1
阪神	100	31.0	59.0	30.0	33.0	22.0	33.0	0.0	1.0	0.0	1.0	84.0	1.0
中国	91	14.3	49.5	33.0	31.9	17.6	28.6	1.1	1.1	2.2	0.0	82.4	5.5
四国	50	18.0	50.0	30.0	18.0	12.0	20.0	0.0	2.0	4.0	0.0	84.0	6.0
九州	171	29.2	50.3	32.2	29.8	29.2	24.6	1.8	4.1	8.2	0.6	83.6	4.7
〔都市規模別〕													
14大都市	342	36.0	51.2	28.4	37.4	30.4	26.6	1.8	1.8	1.8	1.2	76.0	7.6
その他の市	803	26.5	50.6	30.8	33.5	22.9	24.0	1.4	2.4	4.0	1.1	82.1	8.0
町村	328	17.7	50.0	30.2	23.5	15.2	23.5	1.8	3.4	3.7	0.3	82.0	9.1
〔性別〕													
男性	616	23.2	52.8	33.3	32.1	23.9	29.4	2.4	0.6	6.8	0.5	79.9	7.3
女性	857	29.3	49.0	27.8	32.2	22.3	21.0	0.9	3.7	0.9	1.3	81.2	8.8
〔年齢別〕													
16~19歳	91	49.5	72.5	59.3	27.5	28.6	29.7	6.6	7.7	18.7	7.7	79.1	7.7
20~29歳	142	44.4	75.4	63.4	54.2	43.0	40.8	4.2	7.7	12.0	2.1	76.1	4.9
30~39歳	276	36.6	69.9	49.6	40.2	32.6	28.6	0.7	2.5	2.5	0.4	76.8	7.2
40~49歳	268	34.0	66.8	34.7	36.6	26.9	30.2	0.7	1.9	1.5	0.4	80.2	7.1
50~59歳	269	18.2	49.8	17.8	32.0	21.2	22.3	2.6	2.2	1.5	0.4	83.6	6.7
60~69歳	246	14.2	22.8	7.7	22.8	7.3	15.9	0.0	0.0	0.4	0.4	85.8	9.8
70歳以上	181	5.5	5.5	1.1	11.6	7.7	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	80.1	13.8
〔性・年齢別〕													
男性・16~19歳	42	40.5	66.7	61.9	28.6	28.6	31.0	14.3	0.0	35.7	0.0	85.7	7.1
20~29歳	67	37.3	77.6	65.7	50.7	41.8	44.8	4.5	1.5	22.4	1.5	74.6	3.0
30~39歳	102	35.3	71.6	51.0	45.1	34.3	35.3	0.0	0.0	4.9	1.0	70.6	8.8
40~49歳	93	30.1	71.0	44.1	38.7	32.3	40.9	1.1	0.0	3.2	0.0	79.6	7.5
50~59歳	119	11.8	58.8	23.5	29.4	21.8	27.7	4.2	2.5	2.5	0.8	81.5	5.0
60~69歳	103	17.5	29.1	12.6	25.2	8.7	19.4	0.0	0.0	1.0	0.0	83.5	9.7
70歳以上	90	5.6	6.7	1.1	10.0	7.8	12.2	0.0	0.0	0.0	0.0	85.6	8.9
女性・16~19歳	49	57.1	77.6	57.1	26.5	28.6	28.6	0.0	14.3	4.1	14.3	73.5	8.2
20~29歳	75	50.7	73.3	61.3	57.3	44.0	37.3	4.0	13.3	2.7	2.7	77.3	6.7
30~39歳	174	37.4	69.0	48.9	37.4	31.6	24.7	1.1	4.0	1.1	0.0	80.5	6.3
40~49歳	175	36.0	64.6	29.7	35.4	24.0	24.6	0.6	2.9	0.6	0.6	80.6	6.9
50~59歳	150	23.3	42.7	13.3	34.0	20.7	18.0	1.3	2.0	0.7	0.0	85.3	8.0
60~69歳	143	11.9	18.2	4.2	21.0	6.3	13.3	0.0	0.0	0.0	0.7	87.4	9.8
70歳以上	91	5.5	4.4	1.1	13.2	7.7	6.6	0.0	0.0	0.0	0.0	74.7	18.7
〔職業別〕													
農林漁業	38	2.6	23.7	2.6	13.2	2.6	5.3	0.0	0.0	2.6	0.0	89.5	7.9
商工・サービス業	135	23.0	57.0	30.4	32.6	23.0	25.2	0.7	1.5	4.4	0.7	77.8	8.9
事務職	268	40.3	70.1	44.0	44.4	34.7	36.6	1.9	3.4	1.9	0.7	82.1	4.9
労務職	317	22.4	61.5	34.4	32.2	21.5	29.7	1.9	3.2	5.4	0.3	79.8	8.2
自由業・管理職	51	19.6	72.5	47.1	62.7	45.1	29.4	2.0	5.9	3.9	2.0	64.7	5.9
無職の主婦	379	25.1	36.4	20.3	28.5	17.9	16.1	0.3	1.1	0.3	0.5	83.6	9.2
学生	100	54.0	75.0	63.0	38.0	37.0	34.0	8.0	7.0	17.0	6.0	75.0	6.0
その他の無職	185	13.0	14.1	5.4	14.1	9.2	12.4	0.5	0.5	0.5	0.5	81.6	11.9

表4 エイズの情報源に関する回答率(%)

	n	家族や 親類	学校・ 大学	人づ て(友 人な ど)	保健 所	テレ ビ	ビデオ	新聞	一般大 衆向け の雑誌、週 刊誌	マン ガ、コ ミック 誌	専門 書、専 門家向 けの雑 誌	パン フレッ ト	自治体 の広報	イン ターネッ ト、パン コン通 信	携帯電 話のW EB	その 他	エイズ 情報 は得て いない
総数	1473	1.6	5.8	3.3	2.2	50.8	1.8	31.8	7.3	1.2	1.4	2.9	5.0	2.7	0.5	1.5	34.0
〔ブロック別〕																	
北海道	72	1.4	8.3	2.8	2.8	62.5	2.8	36.1	4.2	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	20.8
東北	110	1.8	8.2	3.6	1.8	50.9	0.9	38.2	11.8	0.9	0.0	1.8	4.5	1.8	0.0	1.8	31.8
関東	302	2.3	4.3	4.3	2.6	54.0	1.7	36.1	6.0	1.3	2.6	3.3	5.3	2.3	0.0	1.3	32.1
京浜	149	0.7	3.4	6.0	4.0	46.3	1.3	31.5	8.7	1.3	1.3	1.3	10.1	2.0	1.3	1.3	34.2
甲信越	67	1.5	6.0	1.5	0.0	37.3	0.0	32.8	6.0	0.0	0.0	1.5	3.0	3.0	0.0	1.5	41.8
北陸	36	0.0	5.6	5.6	2.8	50.0	2.8	36.1	16.7	2.8	8.3	8.3	5.6	5.6	0.0	0.0	41.7
東海	182	1.6	5.5	3.8	0.5	40.1	1.6	22.5	6.0	2.2	1.1	3.8	4.4	5.5	0.5	3.3	41.8
近畿	143	2.1	10.5	0.7	3.5	59.4	2.1	39.9	7.7	2.1	0.7	3.5	5.6	2.1	0.7	1.4	24.5
阪神	100	1.0	6.0	4.0	3.0	47.0	1.0	25.0	5.0	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	0.0	1.0	36.0
中国	91	1.1	5.5	0.0	2.2	60.4	5.5	31.9	4.4	1.1	1.1	3.3	2.2	6.6	1.1	1.1	28.6
四国	50	2.0	2.0	0.0	2.0	44.0	2.0	22.0	8.0	2.0	0.0	6.0	4.0	4.0	0.0	0.0	44.0
九州	171	1.2	5.8	2.9	1.2	53.2	1.8	26.9	8.8	0.6	1.8	1.8	5.3	1.8	1.2	1.8	38.0
〔都市規模別〕																	
14大都市	342	1.2	4.4	4.7	3.5	43.6	0.9	29.2	5.8	1.2	1.2	1.5	6.1	2.0	0.6	1.5	38.0
その他の市	803	2.0	6.6	3.2	2.0	56.0	1.9	35.0	7.1	1.5	1.9	3.9	4.6	3.7	0.4	1.5	29.5
町村	328	0.9	5.5	1.8	1.5	45.7	2.7	26.5	9.1	0.6	0.3	2.1	4.9	0.9	0.6	1.5	40.9
〔性別〕																	
男性	616	1.6	5.7	2.8	2.1	49.8	2.6	34.1	9.7	1.1	0.6	3.1	4.9	2.6	0.5	1.1	34.7
女性	857	1.5	6.0	3.6	2.3	51.6	1.3	30.1	5.5	1.3	1.9	2.8	5.1	2.8	0.5	1.8	33.5
〔年齢別〕																	
16～19歳	91	8.8	59.3	14.3	1.1	33.0	3.3	15.4	3.3	5.5	3.3	2.2	4.4	6.6	4.4	2.2	23.1
20～29歳	142	2.1	4.2	3.5	1.4	52.1	1.4	21.1	12.0	4.9	3.5	4.2	2.1	5.6	0.7	0.7	35.9
30～39歳	276	0.7	2.5	1.8	1.8	53.3	1.8	29.7	9.4	0.7	1.4	3.3	5.4	5.1	0.4	0.7	31.5
40～49歳	268	1.5	5.2	2.6	2.6	56.0	1.9	41.0	10.4	0.7	1.5	5.6	6.7	3.7	0.4	3.0	25.4
50～59歳	269	0.7	1.5	4.1	3.0	53.9	2.6	34.9	7.4	0.7	1.1	1.5	6.3	0.7	0.0	1.9	34.9
60～69歳	246	0.8	0.4	2.0	2.4	48.0	1.2	35.4	4.5	0.0	0.4	2.0	4.9	0.0	0.0	1.2	41.1
70歳以上	181	1.1	0.0	1.1	2.2	47.0	1.1	28.2	1.1	0.0	0.0	1.1	2.8	0.0	0.0	0.6	43.6
〔性・年齢別〕																	
男性・16～19歳	42	7.1	59.5	11.9	0.0	31.0	2.4	11.9	4.8	4.8	2.4	2.4	2.4	7.1	2.4	2.4	26.2
20～29歳	67	1.5	3.0	3.0	0.0	47.8	1.5	20.9	11.9	3.0	3.0	4.5	1.5	0.0	1.5	0.0	43.3
30～39歳	102	2.0	2.9	2.0	2.0	52.0	2.9	28.4	8.8	1.0	1.0	2.9	5.9	4.9	1.0	0.0	30.4
40～49歳	93	1.1	3.2	2.2	2.2	59.1	2.2	51.6	20.4	1.1	0.0	6.5	5.4	7.5	0.0	1.1	19.4
50～59歳	119	1.7	1.7	2.5	4.2	51.3	5.0	34.5	10.9	0.8	0.0	1.7	7.6	0.8	0.0	2.5	37.0
60～69歳	103	0.0	0.0	1.9	1.9	48.5	1.0	40.8	6.8	0.0	0.0	1.9	5.8	0.0	0.0	1.0	41.7
70歳以上	90	1.1	0.0	1.1	2.2	47.8	2.2	34.4	2.2	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0	1.1	42.2
女性・16～19歳	49	10.2	59.2	16.3	2.0	34.7	4.1	18.4	2.0	6.1	4.1	2.0	6.1	6.1	6.1	2.0	20.4
20～29歳	75	2.7	5.3	4.0	2.7	56.0	1.3	21.3	12.0	6.7	4.0	4.0	2.7	10.7	0.0	1.3	29.3
30～39歳	174	0.0	2.3	1.7	1.7	54.0	1.1	30.5	9.8	0.6	1.7	3.4	5.2	5.2	0.0	1.1	32.2
40～49歳	175	1.7	6.3	2.9	2.9	54.3	1.7	35.4	5.1	0.6	2.3	5.1	7.4	1.7	0.6	4.0	28.6
50～59歳	150	0.0	1.3	5.3	2.0	56.0	0.7	35.3	4.7	0.7	2.0	1.3	5.3	0.7	0.0	1.3	33.3
60～69歳	143	1.4	0.7	2.1	2.8	47.6	1.4	31.5	2.8	0.0	0.7	2.1	4.2	0.0	0.0	1.4	40.6
70歳以上	91	1.1	0.0	1.1	2.2	46.2	0.0	22.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	45.1
〔職業別〕																	
農林漁業	38	0.0	0.0	0.0	0.0	42.1	0.0	26.3	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	50.0
商工・サービス業	135	2.2	3.0	0.0	9.6	48.1	3.0	28.1	8.9	0.7	0.7	2.2	5.9	3.0	0.0	0.7	33.3
事務職	268	1.5	3.7	4.5	1.1	54.5	3.4	42.9	10.1	1.9	2.2	3.4	5.6	6.7	0.4	2.2	26.5
労務職	317	0.6	2.2	3.8	1.6	54.3	1.9	26.5	11.4	1.3	1.6	4.1	3.8	0.3	0.3	1.6	34.1
自由業・管理職	51	2.0	7.8	2.0	3.9	58.8	3.9	47.1	15.7	2.0	3.9	5.9	15.7	5.9	0.0	0.0	25.5
無職の主婦	379	0.8	1.1	1.6	1.6	52.2	0.5	32.5	2.4	0.0	0.8	2.1	4.0	0.8	0.3	1.8	35.9
学生	100	8.0	56.0	13.0	2.0	34.0	4.0	17.0	4.0	6.0	3.0	3.0	4.0	9.0	4.0	2.0	24.0
その他の無職	185	1.1	0.5	2.2	1.1	47.6	0.0	30.8	5.9	0.5	0.0	1.6	6.5	1.1	0.0	0.0	45.9

表5 エイズに関する知識等に関する回答率(%)

	n	最近、日本では、HIVに感染した人が増加している	最近、日本では、性行為によるHIV感染が多い	現在、抗エイズ薬により延命治療ができるようになった	12月1日は世界エイズデーである	特定の相手とセックスをしていけばHIVに感染しない	症状がなければ、HIVに感染していることはわからない	HIVや性感染症の予防にはコンドーム使用が有効	性感染症にかかっているとHIVに感染しやすい	保健所では名前をいわずに無料でエイズ検査が可能	わからない
総数	1473	62.5	44.7	20.6	13.2	11.4	7.0	52.1	15.1	39.6	17.2
〔ブロック別〕											
北海道	72	72.2	44.4	18.1	11.1	8.3	2.8	45.8	16.7	38.9	8.3
東北	110	66.4	43.6	21.8	17.3	8.2	6.4	52.7	11.8	50.9	11.8
関東	302	60.9	46.4	16.9	10.9	11.9	7.3	50.7	17.5	39.1	17.2
京浜	149	65.8	44.3	28.2	18.8	15.4	6.0	53.7	17.4	47.0	15.4
甲信越	67	59.7	40.3	22.4	11.9	10.4	3.0	40.3	13.4	31.3	17.9
北陸	36	55.6	55.6	16.7	8.3	8.3	13.9	72.2	13.9	36.1	19.4
東海	182	61.0	46.7	20.3	12.6	16.5	8.8	54.9	19.2	39.0	18.7
近畿	143	73.4	55.2	25.2	12.6	9.1	7.7	60.1	11.9	39.2	10.5
阪神	100	70.0	51.0	24.0	11.0	9.0	7.0	61.0	18.0	54.0	9.0
中国	91	58.2	37.4	16.5	9.9	15.4	6.6	57.1	11.0	26.4	18.7
四国	50	60.0	48.0	20.0	10.0	6.0	2.0	42.0	8.0	38.0	32.0
九州	171	49.7	30.4	17.5	17.0	8.8	8.8	41.5	12.3	31.6	29.2
〔都市規模別〕											
14大都市	342	65.5	50.6	27.8	17.0	13.7	7.6	57.9	21.1	47.4	14.0
その他の市	803	63.8	43.1	18.8	12.2	10.8	7.3	51.9	14.1	39.5	16.6
町村	328	56.4	42.4	17.4	11.6	10.4	5.5	46.6	11.6	32.0	22.3
〔性別〕											
男性	616	63.3	45.9	21.3	13.8	13.1	6.7	50.0	15.1	35.7	17.9
女性	857	62.0	43.8	20.1	12.7	10.2	7.2	53.7	15.2	42.5	16.8
〔年齢別〕											
16～19歳	91	60.4	59.3	19.8	18.7	9.9	8.8	50.5	15.4	33.0	19.8
20～29歳	142	73.9	62.0	21.1	14.8	14.1	7.7	66.9	23.9	40.8	7.0
30～39歳	276	68.5	47.8	21.4	17.0	8.3	7.2	62.0	18.1	50.7	8.7
40～49歳	268	74.6	53.4	26.1	15.7	13.4	6.0	68.3	16.0	42.9	9.0
50～59歳	269	61.3	37.9	23.0	11.5	11.2	8.6	50.6	14.9	43.9	16.4
60～69歳	246	53.3	37.0	17.9	11.4	14.2	6.9	39.8	11.8	35.0	22.8
70歳以上	181	42.0	26.5	11.0	4.4	8.3	4.4	21.5	7.2	20.4	43.1
〔性・年齢別〕											
男性・16～19歳	42	47.6	52.4	11.9	21.4	14.3	9.5	52.4	21.4	35.7	19.0
20～29歳	67	73.1	64.2	23.9	9.0	11.9	6.0	65.7	19.4	41.8	9.0
30～39歳	102	64.7	43.1	18.6	19.6	6.9	5.9	55.9	12.7	44.1	10.8
40～49歳	93	77.4	57.0	40.9	16.1	19.4	6.5	74.2	16.1	37.6	8.6
50～59歳	119	63.9	42.9	23.5	13.4	16.8	7.6	47.9	19.3	39.5	14.3
60～69歳	103	63.1	42.7	15.5	14.6	14.6	7.8	35.0	14.6	31.1	23.3
70歳以上	90	46.7	28.9	10.0	4.4	7.8	4.4	25.6	5.6	20.0	40.0
女性・16～19歳	49	71.4	65.3	26.5	16.3	6.1	8.2	49.0	10.2	30.6	20.4
20～29歳	75	74.7	60.0	18.7	20.0	16.0	9.3	68.0	28.0	40.0	5.3
30～39歳	174	70.7	50.6	23.0	15.5	9.2	8.0	65.5	21.3	54.6	7.5
40～49歳	175	73.1	51.4	18.3	15.4	10.3	5.7	65.1	16.0	45.7	9.1
50～59歳	150	59.3	34.0	22.7	10.0	6.7	9.3	52.7	11.3	47.3	18.0
60～69歳	143	46.2	32.9	19.6	9.1	14.0	6.3	43.4	9.8	37.8	22.4
70歳以上	91	37.4	24.2	12.1	4.4	8.8	4.4	17.6	8.8	20.9	46.2
〔職業別〕											
農林漁業	38	39.5	21.1	13.2	5.3	10.5	0.0	28.9	2.6	31.6	39.5
商工・サービス業	135	67.4	50.4	24.4	7.4	8.9	3.7	57.0	15.6	39.3	10.4
事務職	268	73.1	48.9	29.9	19.0	14.6	7.1	65.7	19.0	51.9	10.4
労務職	317	61.8	45.4	14.5	11.4	9.8	8.2	53.6	14.5	37.9	12.6
自由業・管理職	51	78.4	56.9	37.3	19.6	15.7	7.8	70.6	23.5	41.2	5.9
無職の主婦	379	58.8	40.1	19.8	10.8	13.2	6.3	49.1	13.5	40.9	18.7
学生	100	62.0	57.0	23.0	21.0	9.0	8.0	56.0	20.0	36.0	19.0
その他の無職	185	53.0	37.3	11.9	12.4	8.1	9.2	30.3	11.4	25.9	34.6

表6 エイズ予防啓発広報への接触経験に関する回答率(%)

	総数	テレビで広報しているのを見たことがある	電光板ニュースで広報しているのを見たことがある	街頭ビジョンで広報しているのを見たことがある	映画館で広報しているのを見たことがある	携帯電話のWEBで広報しているのを見たことがある	街頭でコンドーム配布等キャンペーンを見たことがある	エイズに関する広報はどこでも見たことがない
総数	1473	39.2	2.3	3.1	3.2	0.7	5.4	55.3
[ブロック別]								
北海道	72	48.6	0.0	0.0	1.4	0.0	8.3	44.4
東北	110	38.2	0.9	3.6	1.8	0.0	5.5	58.2
関東	302	42.7	2.6	3.3	3.0	0.3	5.3	52.0
京浜	149	37.6	5.4	4.7	5.4	2.0	12.8	47.0
甲信越	67	26.9	1.5	1.5	0.0	0.0	3.0	70.1
北陸	36	36.1	2.8	5.6	0.0	2.8	2.8	61.1
東海	182	45.1	3.8	3.8	4.9	1.1	4.9	50.5
近畿	143	37.1	0.0	2.8	4.9	0.7	4.2	56.6
阪神	100	31.0	1.0	3.0	3.0	0.0	1.0	66.0
中国	91	42.9	1.1	2.2	1.1	0.0	4.4	53.8
四国	50	34.0	0.0	2.0	0.0	0.0	6.0	64.0
九州	171	36.8	3.5	2.9	4.1	1.2	3.5	60.2
[都市規模別]								
14大都市	342	36.0	2.6	3.8	5.0	0.9	8.5	53.8
その他の市	803	43.2	2.6	3.5	3.1	0.9	5.1	52.2
町村	328	32.9	1.2	1.5	1.5	0.0	2.7	64.6
[性別]								
男性	616	39.6	2.9	3.7	3.7	0.6	5.7	54.2
女性	857	39.0	1.9	2.7	2.8	0.7	5.1	56.1
[年齢別]								
16～19歳	91	25.3	1.1	3.3	5.5	1.1	8.8	63.7
20～29歳	142	38.0	4.2	4.9	4.9	3.5	4.2	54.2
30～39歳	276	43.5	4.0	2.9	4.3	1.1	6.9	47.1
40～49歳	268	45.5	1.9	4.9	4.5	0.4	6.7	50.0
50～59歳	269	45.0	3.0	3.0	3.0	0.0	6.3	49.4
60～69歳	246	37.0	0.8	1.6	0.8	0.0	2.8	62.2
70歳以上	181	26.0	0.6	1.7	0.6	0.0	2.2	71.8
[性・年齢別]								
男性・16～19歳	42	23.8	2.4	2.4	4.8	0.0	7.1	69.0
20～29歳	67	34.3	6.0	4.5	6.0	3.0	6.0	53.7
30～39歳	102	39.2	2.9	2.0	4.9	1.0	6.9	48.0
40～49歳	93	52.7	2.2	7.5	4.3	1.1	8.6	44.1
50～59歳	119	47.1	4.2	4.2	5.9	0.0	7.6	44.5
60～69歳	103	37.9	1.9	2.9	0.0	0.0	1.9	62.1
70歳以上	90	30.0	1.1	2.2	1.1	0.0	2.2	68.9
女性・16～19歳	49	26.5	0.0	4.1	6.1	2.0	10.2	59.2
20～29歳	75	41.3	2.7	5.3	4.0	4.0	2.7	54.7
30～39歳	174	46.0	4.6	3.4	4.0	1.1	6.9	46.6
40～49歳	175	41.7	1.7	3.4	4.6	0.0	5.7	53.1
50～59歳	150	43.3	2.0	2.0	0.7	0.0	5.3	53.3
60～69歳	143	36.4	0.0	0.7	1.4	0.0	3.5	62.2
70歳以上	91	22.0	0.0	1.1	0.0	0.0	2.2	74.7
[職業別]								
農林漁業	38	26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	73.7
商工・サービス業	135	46.7	4.4	4.4	7.4	0.0	5.9	46.7
事務職	268	45.5	3.4	4.1	5.6	2.2	9.0	47.0
労務職	317	42.3	2.8	3.2	2.2	0.3	6.3	52.4
自由業・管理職	51	51.0	7.8	5.9	2.0	0.0	3.9	43.1
無職の主婦	379	36.9	0.5	1.3	1.8	0.3	3.7	59.6
学生	100	29.0	2.0	4.0	6.0	2.0	9.0	58.0
その他の無職	185	29.2	1.1	3.8	0.5	0.0	1.1	68.1

表7-1 各種エイズ予防啓発広報への接触に関する回答率(%)

	n	(A)車体広告(電気自動車)			(B)雑誌「smart」あるいは「JJ」			(C)雑誌「POPTTEEN」			(D)電車内広告(東京山手線/大阪環状線)		
		見た	見たような気がする	見ない	見た	見たような気がする	見ない	見た	見たような気がする	見ない	見た	見たような気がする	見ない
総数	1473	2.4	5.2	92.5	3.3	7.6	89.1	1.0	3.3	95.8	5.2	8.0	86.8
〔ブロック別〕													
北海道	72	0.0	2.8	97.2	2.8	8.3	88.9	0.0	4.2	95.8	5.6	6.9	87.5
東北	110	0.0	1.8	98.2	3.6	5.5	90.9	0.0	0.9	99.1	4.5	6.4	89.1
関東	302	3.3	8.6	88.1	3.6	7.9	88.4	1.3	4.3	94.4	7.6	11.6	80.8
京浜	149	3.4	4.7	91.9	2.0	10.7	87.2	1.3	4.7	94.0	6.7	16.1	77.2
甲信越	67	0.0	6.0	94.0	3.0	4.5	92.5	0.0	1.5	98.5	1.5	4.5	94.0
北陸	36	0.0	2.8	97.2	0.0	16.7	83.3	0.0	8.3	91.7	2.8	0.0	97.2
東海	182	3.3	2.2	94.5	3.3	6.6	90.1	0.5	1.6	97.8	6.6	8.2	85.2
近畿	143	0.7	1.4	97.9	2.1	6.3	91.6	1.4	2.8	95.8	3.5	7.0	89.5
阪神	100	2.0	8.0	90.0	0.0	8.0	92.0	0.0	2.0	98.0	3.0	4.0	93.0
中国	91	5.5	9.9	84.6	7.7	7.7	84.6	2.2	3.3	94.5	3.3	4.4	92.3
四国	50	2.0	0.0	98.0	4.0	2.0	94.0	0.0	0.0	100.0	0.0	4.0	96.0
九州	171	2.9	6.4	90.6	4.7	8.2	87.1	1.8	4.7	93.6	5.3	5.3	89.5
〔都市規模別〕													
14大都市	342	2.3	3.2	94.4	2.3	8.5	89.2	0.9	4.1	95.0	6.1	8.5	85.4
その他の市	803	2.9	6.5	90.7	4.0	8.3	87.7	1.1	3.0	95.9	5.4	8.8	85.8
町村	328	1.2	4.0	94.8	2.4	4.9	92.7	0.6	3.0	96.3	3.7	5.5	90.9
〔性別〕													
男性	616	3.1	4.9	92.0	3.4	7.5	89.1	1.1	3.4	95.5	6.0	7.8	86.2
女性	857	1.9	5.4	92.8	3.2	7.7	89.1	0.8	3.2	96.0	4.6	8.2	87.3
〔年齢別〕													
16～19歳	91	1.1	8.8	90.1	5.5	6.6	87.9	2.2	4.4	93.4	5.5	11.0	83.5
20～29歳	142	2.8	3.5	93.7	4.9	8.5	86.6	1.4	2.8	95.8	6.3	6.3	87.3
30～39歳	276	2.2	5.8	92.0	3.6	8.0	88.4	0.4	5.1	94.6	7.6	9.1	83.3
40～49歳	268	2.6	3.7	93.7	2.6	9.3	88.1	1.5	2.2	96.3	3.7	11.6	84.7
50～59歳	269	2.6	5.2	92.2	3.0	6.7	90.3	0.7	3.7	95.5	6.3	9.3	84.4
60～69歳	246	3.3	5.7	91.1	4.1	8.9	87.0	1.2	3.3	95.5	4.9	4.9	90.2
70歳以上	181	1.1	5.0	93.9	0.6	3.9	95.6	0.0	1.1	98.9	1.1	3.3	95.6
〔性・年齢別〕													
男性・16～19歳	42	2.4	9.5	88.1	2.4	7.1	90.5	0.0	2.4	97.6	7.1	9.5	83.3
20～29歳	67	6.0	1.5	92.5	6.0	3.0	91.0	1.5	0.0	98.5	6.0	1.5	92.5
30～39歳	102	2.0	6.9	91.2	2.0	6.9	91.2	1.0	4.9	94.1	7.8	8.8	83.3
40～49歳	93	3.2	5.4	91.4	2.2	15.1	82.8	1.1	3.2	95.7	6.5	12.9	80.6
50～59歳	119	4.2	6.7	89.1	4.2	5.0	90.8	1.7	5.0	93.3	6.7	10.1	83.2
60～69歳	103	1.9	2.9	95.1	5.8	10.7	83.5	1.9	4.9	93.2	6.8	5.8	87.4
70歳以上	90	2.2	2.2	95.6	1.1	3.3	95.6	0.0	1.1	98.9	1.1	4.4	94.4
女性・16～19歳	49	0.0	8.2	91.8	8.2	6.1	85.7	4.1	6.1	89.8	4.1	12.2	83.7
20～29歳	75	0.0	5.3	94.7	4.0	13.3	82.7	1.3	5.3	93.3	6.7	10.7	82.7
30～39歳	174	2.3	5.2	92.5	4.6	8.6	86.8	0.0	5.2	94.8	7.5	9.2	83.3
40～49歳	175	2.3	2.9	94.9	2.9	6.3	90.9	1.7	1.7	96.6	2.3	10.9	86.9
50～59歳	150	1.3	4.0	94.7	2.0	8.0	90.0	0.0	2.7	97.3	6.0	8.7	85.3
60～69歳	143	4.2	7.7	88.1	2.8	7.7	89.5	0.7	2.1	97.2	3.5	4.2	92.3
70歳以上	91	0.0	7.7	92.3	0.0	4.4	95.6	0.0	1.1	98.9	1.1	2.2	96.7
〔職業別〕													
農林漁業	38	0.0	0.0	100.0	0.0	2.6	97.4	0.0	0.0	100.0	0.0	2.6	97.4
商工・サービス業	135	3.7	5.2	91.1	3.7	9.6	86.7	2.2	4.4	93.3	6.7	10.4	83.0
事務職	268	2.6	3.7	93.7	1.5	10.1	88.4	0.4	4.5	95.1	5.6	11.9	82.5
労務職	317	1.9	6.0	92.1	3.5	7.9	88.6	0.6	4.1	95.3	4.7	7.3	88.0
自由業・管理職	51	5.9	13.7	80.4	9.8	3.9	86.3	2.0	3.9	94.1	9.8	11.8	78.4
無職の主婦	379	2.1	5.3	92.6	2.9	6.3	90.8	0.8	1.6	97.6	3.7	5.8	90.5
学生	100	1.0	8.0	91.0	5.0	7.0	88.0	2.0	4.0	94.0	9.0	8.0	83.0
その他の無職	185	2.7	2.7	94.6	3.8	7.0	89.2	1.1	2.7	96.2	4.9	6.5	88.6

表7-2 各種エイズ予防啓発広報への接触に関する回答率(%)

	n	(E)屋外広告板			(F)東京都ポスター(マサト)			(G)東京都ポスター(感染増加)		
		見た	見たような気がする	見ない	見た	見たような気がする	見ない	見た	見たような気がする	見ない
総数	1473	2.4	5.8	91.8	3.9	5.8	90.3	1.4	3.4	95.2
〔ブロック別〕										
北海道	72	2.8	9.7	87.5	4.2	5.6	90.3	1.4	8.3	90.3
東北	110	2.7	5.5	91.8	2.7	3.6	93.6	1.8	0.0	98.2
関東	302	3.3	7.3	89.4	5.6	7.6	86.8	1.3	6.6	92.1
京浜	149	2.0	8.7	89.3	11.4	16.1	72.5	2.7	6.0	91.3
甲信越	67	1.5	3.0	95.5	0.0	7.5	92.5	1.5	0.0	98.5
北陸	36	2.8	0.0	97.2	0.0	8.3	91.7	0.0	0.0	100.0
東海	182	1.6	2.2	96.2	6.6	2.7	90.7	1.1	2.7	96.2
近畿	143	1.4	7.0	91.6	0.7	2.1	97.2	0.7	2.1	97.2
阪神	100	4.0	7.0	89.0	0.0	1.0	99.0	1.0	2.0	97.0
中国	91	2.2	11.0	86.8	1.1	3.3	95.6	1.1	1.1	97.8
四国	50	0.0	2.0	98.0	0.0	2.0	98.0	2.0	0.0	98.0
九州	171	2.3	2.3	95.3	2.3	5.3	92.4	1.2	2.3	96.5
〔都市規模別〕										
14大都市	342	3.2	7.3	89.5	7.9	7.9	84.2	1.2	4.1	94.7
その他の市	803	2.5	6.6	90.9	3.2	5.6	91.2	1.4	3.1	95.5
町村	328	1.2	2.4	96.3	1.5	4.0	94.5	1.5	3.4	95.1
〔性別〕										
男性	616	3.2	5.7	91.1	4.4	6.2	89.4	1.9	2.9	95.1
女性	857	1.8	6.0	92.3	3.6	5.5	90.9	0.9	3.7	95.3
〔年齢別〕										
16～19歳	91	3.3	4.4	92.3	1.1	6.6	92.3	1.1	6.6	92.3
20～29歳	142	2.8	7.7	89.4	4.2	4.9	90.8	1.4	2.1	96.5
30～39歳	276	2.2	9.1	88.8	3.6	7.2	89.1	1.1	4.0	94.9
40～49歳	268	2.6	4.9	92.5	3.0	3.7	93.3	1.5	3.0	95.5
50～59歳	269	2.2	5.9	91.8	6.7	6.3	87.0	2.2	5.6	92.2
60～69歳	246	3.3	4.5	92.3	4.1	6.9	89.0	1.6	1.6	96.7
70歳以上	181	0.6	3.3	96.1	2.8	4.4	92.8	0.0	1.7	98.3
〔性・年齢別〕										
男性・16～19歳	42	4.8	2.4	92.9	2.4	9.5	88.1	0.0	11.9	88.1
20～29歳	67	4.5	6.0	89.6	3.0	1.5	95.5	3.0	0.0	97.0
30～39歳	102	2.0	7.8	90.2	3.9	7.8	88.2	1.0	2.0	97.1
40～49歳	93	2.2	6.5	91.4	2.2	2.2	95.7	1.1	0.0	98.9
50～59歳	119	4.2	6.7	89.1	6.7	6.7	86.6	4.2	5.9	89.9
60～69歳	103	4.9	4.9	90.3	5.8	9.7	84.5	2.9	1.9	95.1
70歳以上	90	1.1	3.3	95.6	4.4	5.6	90.0	0.0	2.2	97.8
女性・16～19歳	49	2.0	6.1	91.8	0.0	4.1	95.9	2.0	2.0	95.9
20～29歳	75	1.3	9.3	89.3	5.3	8.0	86.7	0.0	4.0	96.0
30～39歳	174	2.3	9.8	87.9	3.4	6.9	89.7	1.1	5.2	93.7
40～49歳	175	2.9	4.0	93.1	3.4	4.6	92.0	1.7	4.6	93.7
50～59歳	150	0.7	5.3	94.0	6.7	6.0	87.3	0.7	5.3	94.0
60～69歳	143	2.1	4.2	93.7	2.8	4.9	92.3	0.7	1.4	97.9
70歳以上	91	0.0	3.3	96.7	1.1	3.3	95.6	0.0	1.1	98.9
〔職業別〕										
農林漁業	38	0.0	2.6	97.4	0.0	2.6	97.4	0.0	0.0	100.0
商工・サービス業	135	5.9	9.6	84.4	6.7	7.4	85.9	3.0	3.7	93.3
事務職	268	2.2	6.0	91.8	3.0	9.0	88.1	2.2	2.6	95.1
労務職	317	2.2	5.0	92.7	2.8	3.2	94.0	0.9	3.8	95.3
自由業・管理職	51	5.9	9.8	84.3	13.7	7.8	78.4	5.9	5.9	88.2
無職の主婦	379	0.8	5.8	93.4	3.4	5.3	91.3	0.5	2.9	96.6
学生	100	4.0	6.0	90.0	3.0	6.0	91.0	0.0	6.0	94.0
その他の無職	185	2.2	3.8	94.1	4.9	5.4	89.7	1.1	3.2	95.7

表7-3 各種エイズ予防啓発広報への接触に関する回答率(%)

	n	檜崎選手の啓発広報			携帯電話での啓発広報			
		テレビコマーシャルで檜崎選手が話している広報を見た	テレビコマーシャルで誰かが話している広報を見た	そのような広報はどこでも見たことがない	夏(7月頃)に見たことがある	いつだったかは忘れたが見たことがある	WEBは見たが、その政府広報であったかはわからない	そのような広報は携帯電話で見たことがない
総数	1473	13.4	12.0	74.6	0.3	3.5	1.4	94.8
〔ブロック別〕								
北海道	72	11.1	11.1	77.8	0.0	5.6	0.0	94.4
東北	110	10.9	10.9	78.2	0.0	1.8	0.9	97.3
関東	302	15.6	13.6	70.9	0.0	6.0	2.0	92.1
京浜	149	18.8	21.5	59.7	1.3	3.4	2.7	92.6
甲信越	67	1.5	1.5	97.0	0.0	1.5	0.0	98.5
北陸	36	11.1	13.9	75.0	0.0	0.0	5.6	94.4
東海	182	17.0	14.3	68.7	0.5	2.7	1.1	95.6
近畿	143	11.9	4.9	83.2	0.0	0.0	0.7	99.3
阪神	100	10.0	21.0	69.0	1.0	4.0	1.0	94.0
中国	91	7.7	5.5	86.8	0.0	3.3	2.2	94.5
四国	50	4.0	6.0	90.0	0.0	2.0	2.0	96.0
九州	171	17.5	9.4	73.1	0.0	5.3	0.6	94.2
〔都市規模別〕								
14大都市	342	14.9	15.8	69.3	0.9	2.0	1.5	95.6
その他の市	803	12.8	11.6	75.6	0.1	4.9	1.6	93.4
町村	328	13.1	9.1	77.7	0.0	1.8	0.9	97.3
〔性別〕								
男性	616	13.5	11.4	75.2	0.0	4.1	1.5	94.5
女性	857	13.3	12.5	74.2	0.5	3.2	1.4	95.0
〔年齢別〕								
16～19歳	91	14.3	9.9	75.8	0.0	2.2	3.3	94.5
20～29歳	142	17.6	9.9	72.5	0.0	3.5	2.8	93.7
30～39歳	276	15.9	13.8	70.3	1.1	6.2	2.2	90.6
40～49歳	268	17.5	13.4	69.0	0.0	3.0	0.7	96.3
50～59歳	269	12.6	15.6	71.7	0.0	4.1	1.5	94.4
60～69歳	246	10.2	9.8	80.1	0.4	2.0	0.8	96.7
70歳以上	181	5.0	7.7	87.3	0.0	2.2	0.0	97.8
〔性・年齢別〕								
男性・16～19歳	42	16.7	7.1	76.2	0.0	2.4	2.4	95.2
20～29歳	67	19.4	4.5	76.1	0.0	4.5	3.0	92.5
30～39歳	102	19.6	14.7	65.7	0.0	7.8	1.0	91.2
40～49歳	93	17.2	15.1	67.7	0.0	2.2	2.2	95.7
50～59歳	119	9.2	16.8	73.9	0.0	5.9	0.8	93.3
60～69歳	103	9.7	9.7	80.6	0.0	2.9	1.9	95.1
70歳以上	90	6.7	5.6	87.8	0.0	1.1	0.0	98.9
女性・16～19歳	49	12.2	12.2	75.5	0.0	2.0	4.1	93.9
20～29歳	75	16.0	14.7	69.3	0.0	2.7	2.7	94.7
30～39歳	174	13.8	13.2	73.0	1.7	5.2	2.9	90.2
40～49歳	175	17.7	12.6	69.7	0.0	3.4	0.0	96.6
50～59歳	150	15.3	14.7	70.0	0.0	2.7	2.0	95.3
60～69歳	143	10.5	9.8	79.7	0.7	1.4	0.0	97.9
70歳以上	91	3.3	9.9	86.8	0.0	3.3	0.0	96.7
〔職業別〕								
農林漁業	38	10.5	10.5	78.9	0.0	2.6	0.0	97.4
商工・サービス業	135	15.6	15.6	68.9	0.0	3.0	0.7	96.3
事務職	268	14.6	13.8	71.6	0.4	4.1	3.0	92.5
労務職	317	15.8	13.6	70.7	0.3	5.4	0.6	93.7
自由業・管理職	51	11.8	17.6	70.6	0.0	5.9	3.9	90.2
無職の主婦	379	11.3	11.3	77.3	0.5	2.6	1.3	95.5
学生	100	18.0	9.0	73.0	0.0	2.0	3.0	95.0
その他の無職	185	8.6	5.9	85.4	0.0	2.2	0.0	97.8

表8 エイズ予防普及啓発事業に関する報道への接触に関する回答率(%)

	総数	a. 7月頃東京・渋谷コンドーム配布の報道を見た	b. 8月頃同性愛者対象啓発センター開設の報道を見た	c. 10月頃日本のエイズ対策シンポジウムの報道を見た	d. 12月頃飯島愛さんのエイズキャンペーンの報道を見た	e. 12月頃新宿コンドーム配布キャンペーンの報道を見た	(a)~(e)のような報道は見たことがない	昨年までよりエイズに関する報道が多くなったと思う	エイズに関する報道はあまり多くなったとは思わない	昨年は、エイズに関する報道は見たことがない
総数	1473	7.3	2.5	3.9	12.0	4.3	21.9	9.6	21.5	43.2
[ブロック別]										
北海道	72	13.9	5.6	6.9	15.3	4.2	20.8	9.7	27.8	36.1
東北	110	5.5	1.8	1.8	11.8	4.5	34.5	8.2	32.7	30.9
関東	302	12.6	2.3	5.0	18.2	5.6	15.9	7.3	25.5	40.4
京浜	149	14.8	3.4	7.4	19.5	8.1	15.4	12.1	14.8	40.3
甲信越	67	4.5	0.0	1.5	6.0	1.5	31.3	3.0	19.4	52.2
北陸	36	5.6	5.6	8.3	2.8	2.8	16.7	13.9	11.1	50.0
東海	182	3.8	3.3	4.4	9.9	4.4	17.6	9.3	19.2	54.9
近畿	143	4.2	0.7	3.5	11.2	3.5	32.9	9.8	20.3	37.8
阪神	100	3.0	2.0	0.0	10.0	5.0	23.0	11.0	21.0	41.0
中国	91	5.5	0.0	5.5	9.9	4.4	25.3	7.7	30.8	30.8
四国	50	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.0	8.0	10.0	68.0
九州	171	3.5	4.7	1.2	6.4	1.2	19.3	14.6	15.8	49.1
[都市規模別]										
14大都市	342	12.0	2.6	5.3	13.2	6.7	16.1	11.1	18.4	45.3
その他の市	803	6.7	2.6	3.9	13.1	4.4	24.9	9.5	23.2	39.0
町村	328	4.0	2.1	2.4	8.2	1.5	20.7	8.2	20.7	51.2
[性別]										
男性	616	8.0	2.9	5.0	10.2	4.7	23.2	11.0	20.3	43.0
女性	857	6.9	2.2	3.0	13.3	4.0	21.0	8.5	22.4	43.3
[年齢別]										
16~19歳	91	4.4	2.2	2.2	9.9	2.2	29.7	15.4	14.3	42.9
20~29歳	142	7.0	4.9	0.7	12.7	5.6	23.9	13.4	16.2	39.4
30~39歳	276	8.3	1.4	4.3	16.3	5.8	22.1	9.4	22.1	39.1
40~49歳	268	7.8	3.7	5.6	14.6	4.1	24.6	7.5	29.5	35.4
50~59歳	269	6.3	2.2	5.6	13.4	4.5	22.7	8.6	25.3	40.1
60~69歳	246	9.3	2.4	3.3	9.8	4.1	19.5	10.6	19.5	48.0
70歳以上	181	5.5	1.1	2.2	3.3	2.2	14.4	7.2	13.8	61.9
[性・年齢別]										
男性・16~19歳	42	4.8	2.4	4.8	7.1	2.4	23.8	16.7	14.3	52.4
20~29歳	67	6.0	4.5	1.5	11.9	9.0	25.4	16.4	13.4	40.3
30~39歳	102	5.9	1.0	2.0	11.8	3.9	24.5	8.8	26.5	40.2
40~49歳	93	9.7	5.4	7.5	12.9	5.4	24.7	10.8	28.0	30.1
50~59歳	119	10.1	3.4	7.6	15.1	5.9	24.4	9.2	26.9	34.5
60~69歳	103	10.7	2.9	6.8	6.8	2.9	25.2	13.6	17.5	44.7
70歳以上	90	5.6	1.1	3.3	3.3	3.3	14.4	6.7	7.8	66.7
女性・16~19歳	49	4.1	2.0	0.0	12.2	2.0	34.7	14.3	14.3	34.7
20~29歳	75	8.0	5.3	0.0	13.3	2.7	22.7	10.7	18.7	38.7
30~39歳	174	9.8	1.7	5.7	19.0	6.9	20.7	9.8	19.5	38.5
40~49歳	175	6.9	2.9	4.6	15.4	3.4	24.6	5.7	30.3	38.3
50~59歳	150	3.3	1.3	4.0	12.0	3.3	21.3	8.0	24.0	44.7
60~69歳	143	8.4	2.1	0.7	11.9	4.9	15.4	8.4	21.0	50.3
70歳以上	91	5.5	1.1	1.1	3.3	1.1	14.3	7.7	19.8	57.1
[職業別]										
農林漁業	38	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	31.6	5.3	18.4	50.0
商工・サービス業	135	9.6	5.2	4.4	13.3	8.9	24.4	14.8	29.6	33.3
事務職	268	10.8	1.9	6.0	17.5	4.5	22.4	11.6	23.5	35.4
労務職	317	5.4	2.2	4.1	10.7	3.2	22.4	7.6	21.1	43.2
自由業・管理職	51	11.8	2.0	3.9	15.7	5.9	27.5	21.6	29.4	23.5
無職の主婦	379	6.3	2.1	2.6	12.4	4.2	20.8	6.6	21.9	45.9
学生	100	7.0	4.0	2.0	11.0	4.0	27.0	13.0	14.0	44.0
その他の無職	185	5.9	2.7	3.8	6.5	3.2	14.6	8.1	15.1	59.5

表9 エイズへの関心と関心の理由に関する回答率(%)

	n	関心がある	関心がない	エイズに関心がある理由									
				該当者数	世界で問題になっているから	日本でも感染者が増えているから	エイズや性感染症の教育を受ける機会が多かったから	新聞、テレビ、などマスコミで報道されたから	身近に感染者がいる(いた)から	自分も感染する可能性があるから	感染が不安になったことがあるから	その他	わからない
総数	1473	54.4	45.6	802	52.6	72.4	13.1	41.9	0.6	9.4	4.5	1.4	0.6
〔ブロック別〕													
北海道	72	65.3	34.7	47	44.7	78.7	14.9	31.9	2.1	21.3	2.1	0.0	0.0
東北	110	48.2	51.8	53	64.2	67.9	17.0	49.1	0.0	7.5	5.7	1.9	0.0
関東	302	58.3	41.7	176	52.3	75.6	10.2	40.9	0.0	5.7	3.4	1.7	0.0
京浜	149	57.7	42.3	86	44.2	76.7	11.6	43.0	2.3	15.1	2.3	1.2	4.7
甲信越	67	49.3	50.7	33	57.6	72.7	9.1	51.5	0.0	9.1	3.0	3.0	0.0
北陸	36	44.4	55.6	16	81.3	75.0	31.3	50.0	0.0	18.8	12.5	0.0	0.0
東海	182	47.3	52.7	86	53.5	65.1	7.0	32.6	1.2	10.5	5.8	1.2	0.0
近畿	143	58.0	42.0	83	49.4	78.3	20.5	43.4	1.2	8.4	2.4	1.2	1.2
阪神	100	53.0	47.0	53	49.1	73.6	13.2	28.3	0.0	13.2	3.8	1.9	0.0
中国	91	57.1	42.9	52	51.9	61.5	13.5	53.8	0.0	5.8	7.7	1.9	0.0
四国	50	54.0	46.0	27	55.6	77.8	14.8	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
九州	171	52.6	47.4	90	55.6	66.7	13.3	50.0	0.0	6.7	8.9	1.1	0.0
〔都市規模別〕													
14大都市	342	56.1	43.9	192	45.8	74.5	14.1	40.1	1.6	13.0	3.6	2.1	2.1
その他の市	803	56.3	43.7	452	53.5	72.1	13.7	42.0	0.2	6.6	5.1	0.7	0.2
町村	328	48.2	51.8	158	58.2	70.9	10.1	43.7	0.6	12.7	3.8	2.5	0.0
〔性別〕													
男性	616	52.9	47.1	326	55.2	71.2	10.1	40.2	0.9	10.1	4.3	1.5	0.9
女性	857	55.5	44.5	476	50.8	73.3	15.1	43.1	0.4	8.8	4.6	1.3	0.4
〔年齢別〕													
16～19歳	91	48.4	51.6	44	43.2	63.6	56.8	29.5	0.0	11.4	0.0	0.0	0.0
20～29歳	142	65.5	34.5	93	46.2	80.6	22.6	39.8	1.1	21.5	8.6	2.2	0.0
30～39歳	276	62.0	38.0	171	54.4	69.0	8.8	45.0	0.0	11.7	5.8	0.6	0.6
40～49歳	268	59.7	40.3	160	52.5	78.1	14.4	38.1	1.3	10.0	4.4	1.3	0.6
50～59歳	269	55.0	45.0	148	52.0	75.0	8.1	49.3	1.4	6.8	1.4	0.7	0.7
60～69歳	246	52.4	47.6	129	60.5	71.3	5.4	41.9	0.0	3.1	3.1	1.6	0.8
70歳以上	181	31.5	68.5	57	49.1	56.1	3.5	36.8	0.0	0.0	8.8	5.3	1.8
〔性・年齢別〕													
男性・16～19歳	42	38.1	61.9	16	43.8	62.5	50.0	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
20～29歳	67	59.7	40.3	40	35.0	77.5	10.0	35.0	2.5	17.5	10.0	5.0	0.0
30～39歳	102	64.7	35.3	66	59.1	68.2	7.6	48.5	0.0	13.6	9.1	1.5	1.5
40～49歳	93	63.4	36.6	59	55.9	76.3	10.2	37.3	1.7	11.9	1.7	0.0	0.0
50～59歳	119	48.7	51.3	58	58.6	74.1	10.3	46.6	1.7	10.3	0.0	0.0	0.0
60～69歳	103	55.3	44.7	57	64.9	73.7	5.3	33.3	0.0	3.5	1.8	0.0	1.8
70歳以上	90	33.3	66.7	30	53.3	53.3	3.3	36.7	0.0	0.0	6.7	6.7	3.3
女性・16～19歳	49	57.1	42.9	28	42.9	64.3	60.7	25.0	0.0	10.7	0.0	0.0	0.0
20～29歳	75	70.7	29.3	53	54.7	83.0	32.1	43.4	0.0	24.5	7.5	0.0	0.0
30～39歳	174	60.3	39.7	105	51.4	69.5	9.5	42.9	0.0	10.5	3.8	0.0	0.0
40～49歳	175	57.7	42.3	101	50.5	79.2	16.8	38.6	1.0	8.9	5.9	2.0	1.0
50～59歳	150	60.0	40.0	90	47.8	75.6	6.7	51.1	1.1	4.4	2.2	1.1	1.1
60～69歳	143	50.3	49.7	72	56.9	69.4	5.6	48.6	0.0	2.8	4.2	2.8	0.0
70歳以上	91	29.7	70.3	27	44.4	59.3	3.7	37.0	0.0	0.0	11.1	3.7	0.0
〔職業別〕													
農林漁業	38	31.6	68.4	12	75.0	58.3	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
商工・サービス業	135	58.5	41.5	79	63.3	78.5	15.2	43.0	0.0	12.7	7.6	1.3	1.3
事務職	268	66.8	33.2	179	53.1	76.5	12.8	41.9	1.1	12.8	4.5	0.6	0.0
労務職	317	55.5	44.5	176	54.0	74.4	11.4	41.5	0.0	10.2	5.1	0.6	1.1
自由業・管理職	51	68.6	31.4	35	57.1	68.6	17.1	42.9	5.7	2.9	0.0	2.9	0.0
無職の主婦	379	53.0	47.0	201	44.3	71.1	6.0	44.3	0.0	6.5	5.5	2.0	0.0
学生	100	51.0	49.0	51	45.1	64.7	52.9	31.4	2.0	15.7	3.9	2.0	0.0
その他の無職	185	37.3	62.7	69	59.4	63.8	7.2	40.6	0.0	2.9	0.0	2.9	2.9

支 局		地 点			対 象	

○(エイズ広報)－3月○

2004年2月

社団法人 中央調査社

F 1. (職 業) あなたの職業をおきかしてください。

シートNo.=01

- | | | | | | | | | |
|----------------------------|--------------------------------|----------|----------|-----------------|----------------|----------|-----------------|---|
| 1
農林漁業
(家族従業を
含む) | 2
商工・サービス業
(家族従業を
含む) | 3
事務職 | 4
労務職 | 5
自由業
管理職 | 6
無職の
主婦 | 7
学 生 | 8
その他
無 職 | ⑪ |
|----------------------------|--------------------------------|----------|----------|-----------------|----------------|----------|-----------------|---|

F 2. (性)

- | | | |
|----------|----------|---|
| 1
男 性 | 2
女 性 | ⑫ |
|----------|----------|---|

F 3. (年 齢)

<div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div> ⑬ ⑭	歳
--	---

F 4. (教 育) 学校はどこまで行きましたか。

- | | | | |
|--------------------------|-------------------------|-----------------------------|---|
| 1
(新) 中 学
(旧) 小・高小 | 2
(新) 高 校
(旧) 中 学 | 3
(新) 短大・大学
(旧) 高 専 大 | ⑬ |
|--------------------------|-------------------------|-----------------------------|---|

【Q1～Q8の質問は、16～19歳（地点番号200番台）の人を含めた全対象者に聞く】

次に、エイズ広報についておうかがいします。

Q1. 【回答票1】あなたが、昨年1年間に、ここにあげる中で、経験したものをすべてあげてください。

(M. A.)

- 1 (ア) 昨年、11月～12月末の間に映画館に行った
- 2 (イ) 昨年の7月～12月末までの間、携帯電話を使用していた（使用したことがある）
- 3 (ウ) 昨年の7月～12月末までの間、携帯電話のiモード、EZWeb、J-skyのどれかを利用した
- 4 (エ) 出かけた時に、電光板ニュースを見たことがある
- 5 (オ) 出かけた時に、街頭ビジョンを見たことがある
- 6 (カ) ほとんど毎月、一般大衆向けの雑誌、週刊誌を読んだ ⑪
- 7 (キ) ほとんど毎月、一般大衆向けの雑誌「smart」を読んだ ⑫
- 8 (ク) ほとんど毎月、一般大衆向けの雑誌「JJ」を読んだ
- 9 (ケ) ほとんど毎月、週刊少年マガジンを読んだ
- 10 (コ) ほとんど毎月、雑誌「POPTEN」（女子高校生向け）を読んだ
- 11 (サ) ほとんど毎日、テレビは見ていた
- 12 したものはない、わからない

Q2. 【回答票2】あなたは、昨年1年間にエイズに関する情報を得たことがありますか。その情報源について該当するものをすべてあげてください。(M. A.)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1 (ア) 家族（父、母、兄弟姉妹）や親類の人 | 9 (ケ) マンガ、コミック誌 |
| 2 (イ) 学校・大学（先生、養護教諭、保健管理センター） | 10 (コ) 専門書、専門家向けの雑誌 |
| 3 (ウ) 人づて（友人など） | 11 (サ) パンフレット ⑬ |
| 4 (エ) 保健所 | 12 (シ) 都道府県・市町村の広報 ⑭ |
| 5 (オ) テレビ | 13 (ス) インターネット、パソコン通信 |
| 6 (カ) ビデオ | 14 (セ) 携帯電話のWEB（ウェブ） |
| 7 (キ) 新聞 | 15 その他（ ） |
| 8 (ク) 一般大衆向けの雑誌、週刊誌 | 16 エイズに関する情報は得ていない |

Q3. 【回答票3】ここにあげる文章で正しいと思うものをすべてあげてください。(M. A.)

- 1 (ア) 最近、日本では、HIV（エイズの原因となるウイルス）に感染した人の数が増加している
- 2 (イ) 最近、日本では、性行為によるHIV（エイズの原因となるウイルス）感染が多い
- 3 (ウ) 現在、抗エイズ薬により延命治療ができるようになった
- 4 (エ) 12月1日は世界エイズデーである
- 5 (オ) 特定の相手とだけセックスをしていれば、HIV（エイズの原因となるウイルス）に感染しない
- 6 (カ) 症状がなければHIV（エイズの原因となるウイルス）に感染していることはない
- 7 (キ) HIV（エイズの原因となるウイルス）や性感染症の予防にはコンドーム使用が有効である ⑮
- 8 (ク) 性感染症にかかっているとHIV（エイズの原因となるウイルス）に感染しやすい
- 9 (ケ) 保健所では名前をいわずに無料でエイズの検査を受けることができる
- 10 わからない

Q4. 【回答票4】昨年、政府や（財）エイズ予防財団は、いろいろな媒体を利用して「エイズを予防するためにコンドームを使おう」という予防啓発を広報しました。あなたは、昨年1年間に「エイズを予防するためにコンドームを使おう」の広報を見たことがありますか。この中からいくつでもあげてください。

(M. A.)

- 1 (ア) テレビで広報しているのを見たことがある
- 2 (イ) 電光板ニュースで広報しているのを見たことがある
- 3 (ウ) 街頭ビジョンで広報しているのを見たことがある ⑯
- 4 (エ) 映画館で広報しているのを見たことがある
- 5 (オ) 携帯電話のWEB（ウェブ）で広報しているのを見たことがある
- 6 (カ) 街頭でコンドーム配布などのキャンペーンをしているのを見たことがある
- 7 エイズに関する広報はどこでも見たことがない